

教室×家庭で育むお子さまの、最初の9ヶ月成長ストーリー [エピソード]

# Episode

learning, living and you

## 子どもたちの成長ストーリー 9ヶ月でどう変わる？

言葉

一斉指示

癩癩

### STORY #01

周囲との関わりが苦手、数ヶ月でぐんぐん成長

### STORY #02

挑戦しようという気持ちが育ち、コミュニケーションがスムーズに

### STORY #03

何も話さなかった子が、自分の気持ちを言葉で伝えられるように！

子どもの発達の悩み、誰に相談したらいいんだろう？

## 療育って何ですか？

親子の関わり方

ペアレントトレーニング

第2号

2024.04

子どもたちの  
成長ストーリー  
9ヶ月で  
どう変わる？

STORY #01 P2-5

## 癩癩

周囲との関わりが苦手  
数ヶ月でぐんぐん成長

STORY #02 P6-9

## 一斉指示

挑戦しようという気持ちが  
育ち、コミュニケーションが  
スムーズに

STORY #03 P10-11

## 言葉

何も話さなかった子が、  
自分の気持ちを言葉で  
伝えられるように！

P12-13

マンガで読む  
通塾事例

P14-15

療育って何ですか？

P16-17

親子の関わり方  
ペアレントトレーニング

## テーマ 癩癩

# 周囲との関わりが苦手 数ヶ月でぐんぐん成長

息子の困りごとを個性と  
捉えて認識していなかった

年中の秋に保育園の先生から、友だちから話しかけられても避ける様子が見られたり、呼びかけても応じない様子があると言われました。今思えば、当時からこだわりの強さや気持ちの切り替えが苦手なことなど、自閉スペクトラム症の特性は多々ありました。ただ、それもこの子の個性と捉えていて、違和感はなかったんです。

園の指摘があつて初めて  
ほかの子とのちがいを意識

保育園の先生から指摘を受けて初めて、同年代の子どもと息子とは発達が違うのかもしれないと感じました。その日の夜から支援機関を調べたり、かかりつけ医を探したりと、インターネットでひたすら検索。そんな中、インターネットで「療育」と検索していた時にこちらを見つけ、見学を申し込みました。

保育園で友だちとの関わりを避ける姿を指摘されたことが、教室利用のきっかけとなったAくん。ご家庭では大きな困りごとを感じていなかったお母さまは、体験授業で泣き叫ぶAくんを衝撃を受けたといいます。教室の利用を開始してどのような変化があつたのか伺いました。

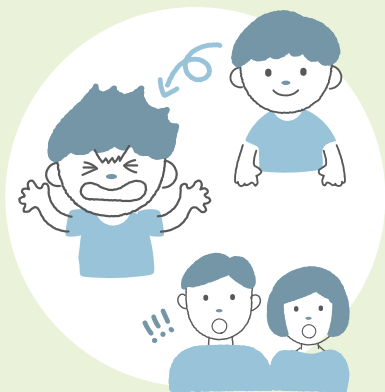




うちの子って家以外では  
こういう感じなんだ

最初は教室に入ることすらできなかつたのですが、先生が「それでいいんだよ」と受け入れながら、うまく促してくださいました。子どもに100%寄り添ってくださる姿勢に、感銘を受けたことを覚えています。

その日は、途中から先生のあそびの提案も拒否して号泣してしまつたのですが、「うちの子って家以外ではこういう感じなんだ」という発見になりました。息子が困っている様子を目の当たりにして、これは通わせたほうが良いとあらためて感じました。



# 「おはよう」と声をかけると、「おはよう」と返してくれる



語彙が増えたことで、  
感情表現も豊かに

息子にとつての本当の幸せ  
を考えるように

自分の気持ちや考えを言葉で  
伝えられるようになったことは  
大きな成長です。まず「貸して」  
を言うことから始め、「食べたい」「  
書きたい」と動詞の語彙  
が増えていき、意思の疎通がス  
ムーズに。それが1〜2ヶ月の  
間にぐんぐんできるようになっ  
ていったことに驚きました。

「おはよう」と声をかけると  
「おはよう」と返せたり、園で  
も好きなあそびの時にはお友だ  
ちの輪に入り「貸して」と自分  
から積極的に関わるようになって  
きました。黙々と自分の世界  
であそんでいた頃とは圧倒的に  
違います。9ヶ月たつ頃には2  
語文、3語文でのコミュニケーション  
が当たり前のように。

通い始めて私たちの考え方も  
大きく変わりました。息子の言  
葉から気持ちを汲み取り、癩癩  
を起さないように先回りをして  
サポートする生活をしていた  
ので、息子のことを自分と同じ  
視している部分があったと思っ  
んです。息子がきちんと自分の  
気持ちを言葉で伝えられるよう  
になって、「息子には息子の考え  
があり、私とは別の人格なんだ」  
ということに気づきました。就  
学先も、ずっと通常学級に入る  
ことが最良の選択肢だと思い込  
んできました。今では「ゆっく  
りでもいいから、息子が無理な  
く、楽しく成長できる環境で学  
んでほしい」という思いを新た  
にしました。



# Message

「言葉で気持ちを伝えられると楽しい、友だちとも一緒に遊べる」といったことを体験していくうちに、関わりへの抵抗感は薄れ、大きく成長しましたね。一度学んだことは忘れず、さらに教わっていないことも周りを観察して吸収していけるのはAくんの強みの一つ。周りの働きかけや指導員の言葉、お父さま、お母さまの声かけから吸収して、自分のものになっている姿に頼もしさを感じます。Aくんの成長の背景には、教室でお伝えしたことを家庭でも継続して取り組んでくださったご家族の存在が大きいと感じます。今後もAくんが楽しく、ご両親も安心して過ごせる場所が見つけられると、私もうれしいです。

LITALICOジュニア  
高田馬場教室  
指導員より



## 無料相談

＼無料相談でできること／

- ・お子さまの困りごと相談
- ・居住地域での相談先
- ・家での親子の関わり方



Aくんが書いた指導員へのお手紙。  
この中には、たくさんのAくんの成長が詰まっています。

かして

かきたい

たべたい

我が家には  
なくてはならない存在

「もし通っていなかったら」と考えると、こわくなります。

授業や先生からのアドバイスは私たちの視野を広げてくれました。こちらは我が家にはなくてはならない存在で、運命の出会いだっただと思っています。

こうした頼れる場所ができたことは、幸せだったと思いますね。LINEでも気軽に相談ができるのもありがたかったです。きめ細やかなサポートに感謝しています。

## テーマ 一斉指示

### 挑戦しようという気持ち 育ち、コミュニケーションが スムーズに

「どうせ伝わらない」

会話への抵抗感が強かった

保育園で一斉指示の理解が難しいほか、先生がお話をしている時にもふと目に入ったものに気を取られてしまうなど、注意散漫な様子が見られるとお話がありました。

また、父がアメリカ人で、家での両親の会話は英語が中心。日本語の会話に慣れていないため、相手の言うことを理解できなかったり、言いたいことをうまく伝えられなかったりと、お互いにフラストレーションが高い状態が続いていました。

そもそも言葉を発すること自体に葛藤があったようです。

「うまく喋れるかな？」という不安が強かったのかもしれない。発語は、こちらから問いかければ何か答えるかな、というくらい。自分から積極的に話すということはほとんどありませんでした。伝えたいことを言葉にできなくて「うー！」と感情をたかぶらせて悔しがることもしょっちゅう。

また、何か言いかけても伝わらないと感じると、話すこと自体をあきらめてしまうようなところもありました。



自分からのコミュニケーションを避け、言いたいことを言葉にできずに悔しそうにする場面も多かったEくん。通い始めて9ヶ月、今ではすっかりおしゃべりへの抵抗感がなくなつたEくんの様子に、お母さまは「前はどつだつたっけ？と思うくらい」と微笑みます。Eくんの成長ぶりを伺いました。

# あまりの変化に、困っていたのが遠い過去のように

話せば伝わるという  
成功経験を積めた！

授業で、困った時には教えて

ほしいと願ひすればいいんだ、と学んできたことが身についてきたと感じます。話せば伝わるという経験を積んでいるので、1回であきらめてしまうこともありませんが、相手のいうことが理解できなかった時は「分らないから教えて」と自分で決する言葉を持っています。あまりの変化に「前はどんなだったかな？」と、会話にフラスト

レーションを感じていたのが遠い過去のように思えるほど。授業で学んだことがぶだんの生活にいきています。

通い始めて9ヶ月。今では一斉指示も理解できているようです。分からないことがあったら、直接先生に聞いているのだと思います。困った時にどうしたらいいかが身について、自分から発信ができるようになったことは大きな成長です。



言葉の発言の練習の前には「笑ってるから嬉しいんだね」といった相手の気持ちを理解する練習にも取り組みました。

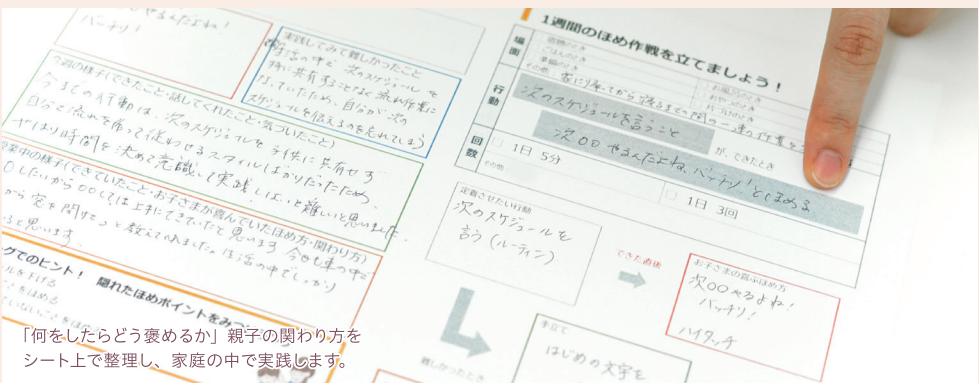
# 「教えてくれてありがとう」「話してくれてありがとう」 といった言葉も自然と出るように

## 子育ての基本姿勢を見直す 機会にも

先生の関わり方を見て、なんでもない日常の場面にも褒めることってこんなにたくさんあるんだ、と気づかされました。

何か伝えてくれた時に、「教えてくれてありがとう」「話してくれてありがとう」といった言葉も自然と出るように。そうした私の言葉から「話してもいいんだ」と感じ取っているのかもしれないですね。お話ししてくれることもだいたい増えましたね。

先生を見ていると、子どもに対するリスパクトを持って、忍耐強く見守っていらっしやる。授業を見ていると毎回身につまされることもあり、息子の授業ですが私の勉強にもなっていると感じます。



「何をしたらどう褒めるか」親子の関わり方をシート上で整理し、家庭の中で実践します。

## 子どもはもちろん、 親にとつての学びの場

子どもはもちろんですが、私にとつての学びの場だったとつくづく思います。

子どもの尊厳を大切にすることを教えてくれる場所で、ここに来ると毎回気づきがあります。親はつい子どもに多くを望みすぎてしまうのですが、先生はいつも今の息子の発達に合わせた目標を提案してくださることもありがたいですね。

毎週、「こんな場面ではこうしよう」という具体的な声かけや働きかけのアドバイスがあるから、家庭でも実践しやすかったです。



# Message

通い始めのEくんは、戦いごっこに夢中になると周りの声が入らなくなったりする様子が見られました。必ず「Eくん」と目を合わせてから話しかけ、しっかり気持ちを向けてから課題に取り組むよう心がけました。

Eくんはユーモアたっぷりで、自分が好きなことを誰かといっしょに楽しみたい、分かり合いたいという気持ちを持っています。その気持ちを上手にお友だちに伝えることができるようになりましたね。

Eくんが持ち前のユーモアをそのままに、小学校に入学しても、お友だちと楽しく過ごせるようにと応援しています！

LITALICOジュニア  
横浜教室  
指導員より



## 無料相談

＼無料相談でできること／

- ・お子さまの困りごと相談
- ・居住地域での相談先
- ・家での親子の関わり方



「挑戦しよう」という  
気持ちが見られるように

息子にとってここはいろんなおもちゃがあつて、先生たちが温かく迎えてくれて、遊園地のような楽しい場所だと思えます。自分の話を真剣に聞いてくれる人がいて、たくさん褒めてもらえる。授業もいきいきと受けていました。

通う前は、息子は言葉にできない生きづらさを抱えていたと思います。それを解消する方法を学んだことで、毎日を楽しそ

うに過ごす姿を見られるようになったことが、親として一番うれしいことです。

以前に比べると、「挑戦しよう」という気持ちが出てきているのが分かるし、コミュニケーションもスムーズにとれるようになっていきます。また、子どもをコントロールしようとしていた自分に気づいて、見つめ直すことができたことも、大きな収穫でした。それがめぐりめぐって、親子関係はもちろん、夫婦関係にもいい影響を与えていると感じます。

## テーマ 言葉

何も話さなかつた子が、  
自分の気持ちを言葉で  
伝えられるように！

発語に遅れがあり、喃語や「ママ」などの言葉もなかなか出てこなかつたというKくん、人と目を合わせたりおもちゃに興味を持つこともあまりなかつたといいます。現在6歳のKくんは、4歳で教室の利用を開始してから急成長。これまでの変化について伺いました。

### 「楽しい」を引き出しながら 学べる環境づくり

幼稚園の園長先生から「言葉に特化したトレーニングを受けたいのか？」と提案を受けました。その当時は、言語訓練というものがあること自体知らなかつたので「そんなトレーニングがあるのか」と思いましたね。それからいろいろと調べてたどり着いたのがこちらでした。

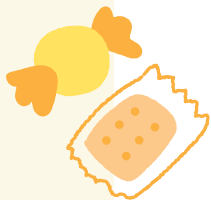
通い始めてから3〜4ヶ月後くらいでしょうか、だんだんと言葉のようなものが出てくるようになってきました。身体を動かしてあそんでいる時、テンションが上がった勢いで話すことが増えてきたんです。きつと、席に着いた状態で「○○って言うわね」と促すような授業では、こ

然と言葉で話したくなる環境をつくつてくださるので、それが息子に合っていたのかな、と。

んなに早く言葉が出てくることはなかつたと思っています。先生は子どもの「楽しい」という気持ちを引き出しながら、自

通い始めて1年頃から、2語文を話すためのトレーニングに取り組み始めました。少し前までは、2語文なんて夢のまた夢という感じだったので、短期間で成長ぶりに驚いています。ちゃんと「お菓子ちょうだい」と言えることもあって、そんな時にはとてもうれしい気持ちになりますね。

## 夢のまた夢だつた2語文を練習中



# Message

教室に通い始めた当初は、他者への興味関心が薄かったKくん。一番の課題だった言葉については、まずは息を吐いたり声を発したりする練習に取り組み、慣れてきたら今度は聞こえた音を真似する練習といったように、徐々にステップアップ。好きなものや日常的に使う言葉の一つずつ覚え、今では「ボール貸して」「ドア開けて」などの2語文も自発的に話すことが増えてきました。

興味関心の幅が広がったことで以前よりも表情が豊かになったKくん。これからも、保護者さまと一緒に「これができるようになった!」という喜びを共有しながら、一緒に楽しい時間を過ごせたらと思っています。

LITALICOジュニア  
荻窪教室  
指導員より



## 無料相談

＼無料相談でできること／

- ・お子さまの困りごと相談
- ・居住地域での相談先
- ・家での親子の関わり方



## 特性に合わせた指導が短期間の成長につながった

通い始める前は、いろいろなことを試しても言葉がなかなか出てこなかったのですが、「これも息子の特性だから仕方ない」と半ば諦めかけていたんです。でも、教室で週に1度のトレーニングを始めると、驚くほどすぐに言葉が出るようになりました。先生は、息子の様子を細かく観察した上で目標を設定してくれました。さらにその目標を達成するためにどんなことに取り組んでいくのか具体的な計画を立てて、それを毎回の授業の中で実践してくださいます。

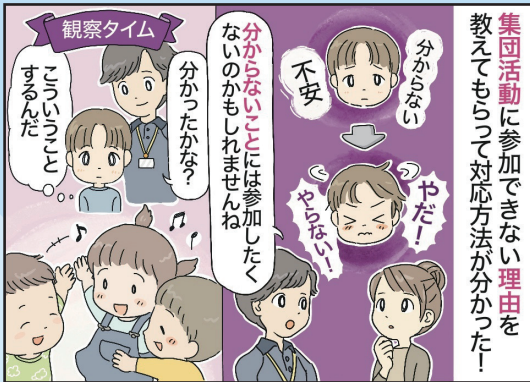
息子がこの1年で成長できたのは、先生のおかげだと思っているので本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、教室で先生とお話する時間は心の支えにもなっています。発達障害がある子を育てていると、「この関わり方でいいのかな?」「これが正しいのかな?」と悩むことがとても多いんです。

以前は、なかなか周りに相談できる人がいなくて、孤独を感じる瞬間もありました。今では、困ったことがあれば気軽に先生に相談できるのでとても心強いですし、先生のアドバイスや励ましのお言葉に、いつも背中を押してもらっています。



## 何もできず泣いていた子が園の行事に参加できた！

運動会はお友だちと一緒に参加できず、端っこで見ていただけだった息子。参加できない理由とその対応方法が分かって、今では楽しく参加できるように！



息子は集団活動が苦手  
で、お友だちと一緒に園の  
行事に参加することができ  
ませんでした。

教室でそのことを相談し  
た時には、「Nくんは、分  
からないからやりたくない  
のかもしれない」と教え  
ていただき、息子が抱く不  
安や拒否感を和らげるため  
に、先の見通しを持てるよ  
うなアプローチ方法を提案  
してもらいました。

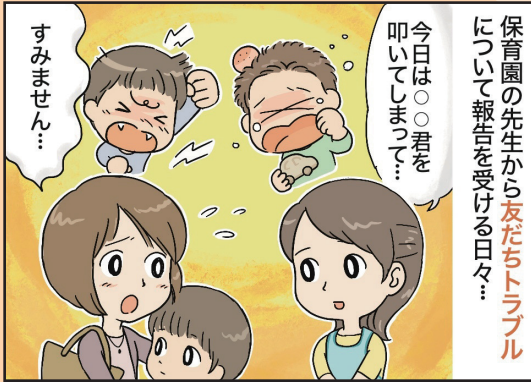
例えば、集団活動に参加  
するのを嫌がる時には、無  
理に参加させるのではなく、

まずは遠くからお友だちが  
活動している様子を見せて  
もらって何をするのか理解  
してから取り組めるように  
してもらいました。その結  
果、お友だちの様子を見な  
がら楽しく参加できるよう  
になり、運動会でも、前の  
年には何もできなくて泣い  
ていた息子が、徒競走に参  
加したり、お友だちと一緒  
にダンスを踊ったりしていま  
した。その成長ぶりにとて  
も驚きましたし、園の先生  
も泣きながら喜んでくれま  
した。



## 友人トラブルがぐっと減り、 今では仲裁に入るまでに

保育園からお友だちとのトラブルの報告を受けていたのに、今では喧嘩をしている友だちの仲裁に入るまでに。自分の気持ちを言葉で伝えられるようになってトラブルがぐっと減りました。



「○○ちゃんを叩きました」  
「○○ちゃんとトラブルになりました」など保育園から報告を受ける日々。家でも気に入らないことがあると騒ぐ様子がみられました。子どもはそういうものだと思います。

授業では、登場人物の行動を動画を見て善悪の判断をしたり、イラストの表情を見てどんな気持ちかを言葉にする練習をしたりしました。通い始めてしばらくたった時に、保育園の先生

から「お友だちに手を出さないように一生懸命頑張っていますよ」と言われました。年長になった頃には友だちとのトラブルがぐっと減りましたね。自分の気持ちを話してくれるようになって、相手に対して手が出てしまうこともなくなりました。逆に喧嘩をしている友だちを見ると仲裁に入るようになります。教室の先生が共感してくれたり、的確なアドバイスをもらえたりすることは家族の支えになっています。

子どもの発達の悩み、誰に相談したらいいんだらう？

# 療育って何ですか？

「言葉が遅い」「落ち着きがない」などお子さまの発達について不安やお困りの保護者の方もいらつしやるかと思えます。

そんな時に利用できる支援として「療育（発達支援）」があります。

- ✓ 言葉の発達がゆっくり
- ✓ 勉強が苦手
- ✓ コミュニケーションが苦手
- ✓ 感情のコントロールが苦手
- ✓ 落ち着きがない
- ✓ こだわりが強い



とつながり、結果として「できた」を広げていくことが大事になります。

療育（発達支援）ではお子さまの現在の困りごとや発達の状況、障害特性に応じて、個別の支援計画を作成し、支援を進めていきます。例えば言葉を使ったコミュニケーションが難しいお子さまについては、発音の仕方を教えたり、コミュニケーションの取り方を教えたりします。また、お子さまのご家族への支援もあわせて実施されています。

お子さまは、一人ひとり発達のスピードが異なります。加えて、特性のあるお子さまの場合、特性の影響から自然な環境だけでは、学びにくさや学び損ねが生じやすかったりします。そのため、特性や発達に合わせた関わりをすることで、学びやすさやその機会を増やすこ

療育（発達支援）にはさまざまな支援方法や種類があります。次のページでその一部を紹介いたします。





# 療育(発達支援)の種類



療育(発達支援)の支援方法の一部をご紹介します。

種類	解説
マンツーマン	<p>指導員が1対1で支援します。まだ未学習のスキル、例えば、発話やコミュニケーション、身体の使い方、気持ちのコントロールなどの行動面、就学以降には学習面など、お子さまの「できる」を増やすための支援がおこなわれます。</p> <p>支援する領域によっては、CP(心理師)やPT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)などが支援にあたる機関もあります。</p>
個別 (1~3名)	<p>指導員1名に対して、3名前後で授業をおこないます。マンツーマンで学んだやり取りを同世代のお友だちとの間で発揮し、「うまくいった」という成功体験を経験することや、集団でのルールを学ぶSSTなどをおこないます。</p>
集団	<p>より日常環境に近い形で、複数のお子さまと一緒にプログラムを受けます。持っている力や学んだことを日常の集団場面で発揮しやすくするために、サポートツールなどを使用したり、お子さまが主体となって活動する機会をつくったり、その結果を振り返ったりします。また、ロールプレイやルールのある遊びなどを通じてのスキル獲得なども図られます。</p> <p>事業所によっては、長時間自由に活動する形や、保護者が一緒に参加するプログラムをおこなっている場合もあります。</p>
保育所等 訪問支援	<p>保育園や幼稚園、小学校などお子さまが普段通っている施設に指導員が訪問し、お子さまが集団生活の中で安心して過ごすことができる環境や対応方法や、園・学校の先生方にご提案するなどしてサポートします。</p>

監修 菅佐原 洋

LITALICO ジュニア・LITALICO 発達ナビ  
チーフスーパーバイザー/博士(心理学)・公認心理師

LITALICOジュニアでは、お子さまの発達のこと、子育ての困りごとについて無料でご相談を承っています。お気軽にお問い合わせください。

無料相談の詳細・お申込みはこちら



## ペアレントトレーニング

怒りたくないのに子どもの行動についてイライラ…  
褒めて伸ばすは頭で分かっても難しい！

子育てをしていると誰でも  
さまざまな悩みがあると思っ  
ます。ペアレントトレーニング

親密度が高まり、家庭内におい  
て良好な関係が築きやすくなり  
ます。

は、子育ての悩みを解決する子  
育てのコツや工夫を学び、家庭  
で実践できるよう保護者さまを  
サポートしていくプログラムで、  
1960年代から米国で開発さ  
れ発展してきました。

トレーニングは、お子さまの  
行動の理由を見極め、適切なタ  
イミングで褒めたり声かけする、  
生活空間やお子さまの持ち物の  
工夫などで問題が起きないよう  
に調整する、見通しを分かりや  
すく事前に説明するなど、さま  
ざまな内容を段階を踏みながら  
学び、実践できるようにしてい  
きます。

ペアレントトレーニングでは、  
保護者さまが専門性やスキルを  
修得している指導員からお子さ  
まとの関わり方を学ぶことで、  
適切な声かけや対応ができるよ  
うになり、お子さまの行動にも  
変化が現れ、問題行動の発生が  
減少することも期待できます。  
また、適切な行動に対して褒め  
ることで、親子間の信頼関係や

お子さまにあった関わり方を  
理解し、子育ての困りや悩みを  
減らし、よりよい親子関係を築  
ききっかけとして利用してみる  
のもよいかもしれません。

※画像はイメージです





ペアレントトレーニングでは  
ご家庭に合わせて具体的な  
対応方法などを一緒に考えます！

### 菅佐原 洋

LITALICO ジュニア・LITALICO  
発達ナビ チーフスーパーバイザー /  
博士(心理学)・公認心理師

発達障害のあるお子さまへの直接  
支援、幼・小・中学校での特別支  
援アドバイザー、大学・教育セン  
ター・医療機関でのスーパーバイ  
ズなど発達臨床歴20年超

臨床発達心理学を専門とし、  
ペアレ研修も行なっています

### お悩み

4歳の息子は道を歩いている時に、  
わざとふざけて繋いでいる手を振り  
払い、こちらをチラチラ見ながら走り  
回ってしまいます。周りを見ないので  
人にぶつかりそうになり、いつ  
も困っています。

外出時はいつも  
ハラハラですね

このお悩みに対し、ペアレント  
トレーニングで何ができるのか  
ご説明したいと思います！



### ABC分析という

事前の出来事

行動

行動の結果

まずはお子さまの行動には  
それに至るきっかけと行動した  
後の結果があります

この行動の前後の働き  
かけでお子さまの行動  
自体が変わります

### 今回のケースに当てはめてみると

事前の出来事

ただ歩くつまらないな

行動

好みに  
走っちゃおう!

行動の結果

かまっ  
てもらえた!



この走り回るといふ行動の理由  
を考えてみましょう

もしかしたら  
つまらない時走り回ると  
かまってもらえて  
楽しい!

と誤った学習を  
してしまっているのかも  
かもしれませんね



### LITALICOジュニアのペアレントトレーニング「褒め上手」プログラム

#### 受講期間中

この時、ハードルを下げて少し  
でもお子さまができたことを  
見つけてほめることが大切!

しりとり上手ね  
手を繋いで  
えらいなあ!



楽しかったし、  
ほめられた…!

手を繋いでて  
えらいね



ほめられた!

#### POINT

- ✓ できていることをほめましょう!
- ✓ ほかの楽しいことをする機会をつくることも大切です

1ヶ月後

今日はぼくが  
〇〇のお話する

分かったー聞かせて  
手繋いでるね  
本当にえらいね!

本当にえらいね!



一緒にお子さまとご家族にあった関わり方を  
見つけて、お互いに笑顔でいられる時間を  
ふやしていきましょう



人はみんな、  
それぞれに個性をもって生きている。  
よく笑う人、さみしがりな人。  
ゆっくり成長する人、話すことが得意な人。  
もくもくと作業に取り組む人。

誰ひとりとして同じではなく、  
さまざまな人間性をもって、かけがえのない人生を歩んでいる。  
それなのに私たちの社会には、  
「ちがいを」をじゅうぶんにいかしきる仕組みができていない。  
それは、とてももったいないことだと思うのです。

生き方も、幸せも、決して一つではなく、人それぞれ。  
だからこそ、べつべつの個性が出会い協力しあうことで、  
想像できなかった未来だって、きっと生まれてくるはず。  
そんな考えを世の中すべての人のあたりまえにしたい、  
それがLITALICOの想いです。

人が育つとき、働くとき、何かをつくりだすとき、チャレンジするとき。  
その「ひとり」をせいっぱい応援して、  
可能性を最大限に広げていきたい。  
「みんなの得意をいかし、できないことをおぎないあえる社会」をつくってほしいと、私たちは考えます。

あなたは、他の誰でもない。  
そこから、すべての未来ははじまります。

## 株式会社LITALICO について

株式会社LITALICOは「障害のない社会をつくる」をビジョンに掲げ、働くことに障害のある方に向けた就労移行支援を開始後、児童発達支援や放課後等デイサービス、幼児教室&学習教室、プログラミング教室の教育分野へ事業を展開。店舗運営の他、従来の分野に高齢者福祉を加え、当事者の方やそのご家族、企業などそれぞれに向けたポータルサイトやWebサービスを展開。2016年3月に東証マザーズに上場、2017年3月東証一部に市場変更。2022年4月に東京証券取引所プライム市場に移行。

人はちがう。

それでいい。

そこから始まる。

**LITALICO**  
リタリコ



この冊子はLITALICO ジュニアのパーソナルコースの  
協力のもと制作いたしました。



Episode [エピソード] vol.02 2024

エピソード 2024年4月号2号

発行 株式会社ITALICO  
〒153-0051 東京都目黒区上目黒2-1-1

中目黒GTタワー15F/16F/20F